

第10章 商工・労政

1 概況	171
(1) 商業	
(2) 工業	
10-1 事業所数及び従業者数の推移	172
10-2 業種別事業所数・販売額	173
10-3 製造業の業種別事業所数及び従業者数	174
10-4 産業大分類別事業所数及び従業者数	176
10-5 商工会議所・商工会	180
2 大島紬	181
10-6 市町村別生産反数	181
10-7 年次別生産反数・生産金額	182
10-8 染別生産反数	182
10-9 経緯緋・緯緋別生産反数	182
10-10 品級別・女物男物別生産反数	183
10-11 算別生産反数	183
10-12 大島紬関係施設	184
3 奄美黒糖焼酎	185
10-13 酒造年度別奄美黒糖焼酎製成数量, 課税移出数量, 移出額	185
10-14 市町村別焼酎等製造施設等	186
4 電力・ガス	187
(1) 電力	
10-15 電力種別毎の概要	187
10-16 太陽光発電及び風力発電の概要	188
10-17 島別認可出力及び島別年間最大発生電力	188
10-18 電力需給状況の推移	189
10-19 販売電力量(内訳)	189
(2) ガス	
10-20 LPガス及び都市ガスの普及率	190
10-21 LPガス(一般家庭用及び業務用)の消費量の推移	190
5 中小企業等協同組合	191
10-22 中小企業等協同組合	191

6	計 量	193
	(1) 沿 革	
	(2) 群島の届出・登録・指定事業者	
	10-23 計量関係事業者の現況	193
	10-24 計量関係事業者名	193
	10-25 定期検査	193
7	労 政	194
	(1) 労 働	
	10-26 市町村別・法規別労働組合組織状況	194
	10-27 産業別労働組合組織状況	194
	10-28 労働争議発生状況	194
	(2) 雇 用	
	10-29 新規高卒者就職状況の推移	196
	10-30 年次別一般職業紹介状況	198

1 概 況

(1) 商 業

奄美群島の卸売業・小売業の事業所数は1,879店、従業者数は8,158人、販売額は1,228億円となっており、県全体に占める割合は、それぞれ8.9%、5.9%、2.9%となっている。(事業所数及び従業者数は、販売額不詳のものを含む数値である。)

商業活動としては、各島毎にほぼ完結した生活圏で奄美市や奄美大島南部の瀬戸内町、徳之島の徳之島町が周辺町村を含めた地域の拠点としての商圏を形成しているほかは、それぞれ各町村内の購買力に依存している。

商店規模としては、一店当たり従業員数で4.3人(県平均6.6人)、販売額6,536万円(県平均19,884万円)となっており、極めて零細といえる。

このため、消費者ニーズの多様化等に対応した店舗の共同化等商業活動の近代化・合理化及び街路整備や駐車場の設置などによる環境の整備を進め、地域の活性化の牽引力ともなる魅力ある商店街の形成を進める必要がある。

(2) 工 業

奄美群島には4人以上の事業所が121あり、その従業員数は1,400人、出荷額は227億円となっており、県全体に占める割合は、それぞれ6.0%、2.0%、1.1%となっている。

事業所規模については、4人以上の事業所で一事業所当たり従業員数11.6人(県平均35.2人)、出荷額18,732万円(県平均102,115万円)と県平均を大きく下回っており零細な事業所が多いことを示している。

10-1 事業所数及び従業者数の推移

資料：平成28年経済センサス-活動調査（平成28年6月1日）
 平成26年商業統計調査（経済産業省大臣官房調査統計グループ）（平成26年7月1日）
 平成24年経済センサス-活動調査（平成24年2月1日）
 平成21年経済センサス-基礎調査（平成21年7月1日）

区分 市町村別	卸売業・小売業の事業所数				従業者数(人)			
	平成28年	平成26年	平成24年	平成21年	平成28年	平成26年	平成24年	平成21年
総数	1,879	1,565	2,037	2,358	8,158	6,463	9,604	10,020
(奄美大島)	1,017	847	1,106	1,282	4,712	3,938	5,715	5,754
奄美市	723	591	766	902	3,540	2,982	4,347	4,405
大和村	18	16	24	28	37	37	43	58
宇検村	23	15	24	28	49	39	55	57
瀬戸内町	160	145	191	212	576	513	717	683
龍郷町	93	80	101	112	510	367	553	551
(喜界島)	107	98	130	160	502	375	566	754
喜界町	107	98	130	160	502	375	566	754
(徳之島)	409	343	434	501	1,547	1,251	1,842	2,020
徳之島町	240	193	250	279	1,044	811	1,216	1,281
天城町	93	85	109	128	282	261	415	499
伊仙町	76	65	75	94	221	179	211	240
(沖永良部島)	248	199	269	298	1,029	646	1,088	1,078
和泊町	145	109	148	165	614	353	627	643
知名町	103	90	121	133	415	293	461	435
(与論島)	98	78	98	117	368	253	393	414
与論町	98	78	98	117	368	253	393	414
(県計)	21,093	16,867	22,124	24,811	139,235	107,533	151,560	62,110
群島/県×100	8.9	9.3	9.2	9.5	5.9	6.0	6.3	6.2

注1 日本標準産業分類の第12回改訂及び調査設計の大幅変更や調査の集計対象範囲の違いもあるため、比較は行っていない。

2 飲食店は除いてある。

3 奄美大島には、加計呂麻島、請島、与路島を含む。

10-2 業種別事業所数・販売額

資料：平成28年経済センサスー活動調査
 期日：平成28年6月1日
 単位：事業所，人，百万円

市町村別 業種別	総 数			奄 美 市			大 和 村			宇 検 村			瀬 戸 内 町		
	事業所数	従業者数	年間商品販売額	事業所数	従業者数	年間商品販売額	事業所数	従業者数	年間商品販売額	事業所数	従業者数	年間商品販売額	事業所数	従業者数	年間商品販売額
合 計	1,542	6,756	122,803	581	2,994	66,586	16	33	187	15	36	488	136	491	6,512
卸 売 業 計	209	1,052	42,967	99	656	29,636	—	—	—	1	4	χ	9	26	388
小 売 業 計	1,333	5,704	77,423	482	2,338	36,950	16	33	187	14	32	χ	127	465	6,124
各種商品小売業	1	126	χ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
織物・衣服・身の回り品小売業	120	271	1,951	64	153	1,500	—	—	—	—	—	—	8	14	64
飲食料品小売業	577	2,603	29,530	180	968	11,632	11	22	115	9	21	224	66	223	2,530
機械器具小売業	139	596	7,393	50	215	3,131	1	5	χ	1	1	χ	9	32	191
その他の小売業	481	2,077	32,220	181	981	20,218	3	5	χ	4	10	χ	43	195	χ
無店舗小売業	15	31	512	7	21	469	1	1	χ	—	—	—	1	1	χ
市町村別 業種別	龍 郷 町			喜 界 町			徳 之 島 町			天 城 町			伊 仙 町		
	事業所数	従業者数	年間商品販売額	事業所数	従業者数	年間商品販売額	事業所数	従業者数	年間商品販売額	事業所数	従業者数	年間商品販売額	事業所数	従業者数	年間商品販売額
合 計	80	474	6,894	91	410	5,363	206	905	16,043	79	229	2,720	60	194	1,926
卸 売 業 計	13	69	2,036	7	22	329	29	106	4,029	9	20	219	4	8	χ
小 売 業 計	67	405	4,859	84	388	5,034	177	799	12,014	70	209	2,501	56	186	χ
各種商品小売業	1	126	χ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
織物・衣服・身の回り品小売業	2	19	χ	5	8	13	17	35	147	3	4	13	2	3	χ
飲食料品小売業	36	171	1,534	39	208	2,163	72	374	4,995	30	94	975	36	106	783
機械器具小売業	11	46	623	10	61	541	16	95	1,459	9	25	267	4	22	188
その他の小売業	15	40	346	30	111	2,318	69	292	5,371	27	84	χ	14	55	χ
無店舗小売業	2	3	χ	—	—	—	3	3	42	1	2	χ	—	—	—
市町村別 業種別	和 泊 町			知 名 町			与 論 町			注1 産業大分類「I-卸売業，小売業」に格付けられた事業所のうち、以下の全てに該当する事業所（集計対象（有効回答）事業所）について集計した。 ・管理，補助的経済活動のみを行う事業所ではないこと ・産業再分類の格付に必要な事項の数値が得られた事業所であること 注2 従業者数とは「個人業主」，「無給家族従業者」，「有給役員」及び「常用雇用者」の計であり，臨時雇用者は含めていない。 注3 申告者の秘密保護のため秘匿すべき数字をχで示した。『総数』の（ ）は秘匿すべき数字を除いた計を参考数値として掲載したものである。					
	事業所数	従業者数	年間商品販売額	事業所数	従業者数	年間商品販売額	事業所数	従業者数	年間商品販売額						
合 計	113	398	8,878	82	291	3,642	83	301	3,562						
卸 売 業 計	16	66	4,527	11	38	809	11	37	994						
小 売 業 計	97	332	4,352	71	253	2,833	72	264	2,568						
各種商品小売業	—	—	—	—	—	—	—	—	—						
織物・衣服・身の回り品小売業	8	19	121	5	9	79	6	7	15						
飲食料品小売業	40	142	1,507	32	126	1,424	26	148	1,648						
機械器具小売業	13	53	619	8	25	250	7	16	123						
その他の小売業	36	118	2,105	26	93	1,080	33	93	783						
無店舗小売業	—	—	—	—	—	—	—	—	—						

10-3 製造業の業種別事業所数及び従業者数

区分 市町村別	総 数	食 料	飲 料	織 維	衣 服	木 材	家 具	紙	出 版	印 刷	化 学	石 油	プ ラ ス チ ック
H 1.12.31	295 3,379	62 1,127	24 170	138 1,096	3 x	6 61	2 x	-	14 233	/	-	-	
H 6.12.31	217 2,700	69 1,150	22 159	57 376	6 206	7 x	4 29	-	11 216	/	-	1 x	-
H11.12.31	204 2,319	69 902	23 193	40 255	6 x	4 x	4 24	-	11 211	/	1 x	2 x	-
H16.12.31	176 1,769	65 681	24 324	27 177	2 22	3 18	3 21	-	から新聞業・出版業は製造業 情報・通信業へ移行	8 75	1 16	2 8	-
H25.12.31	129 1,406	48 561	26 317	9 77	織 維 に 統 合	3 14	2 13	-		8 52	1 37	-	-
H26.12.31	125 1,408	47 579	27 340	7 65		3 15	2 15	-		8 52	1 41	1 8	-
H30.6.1	124 1,413	45 581	26 327	9 81		2 9	2 18	-		7 41	1 8	1 8	-
R元.6.1 (A)	121 1,400	44 562	47 329	9 70		2 9	2 18	-		6 38	2 13	2 17	-
(奄美大島)	73 799	24 250	11 195	9 70		1 4	2 18	-		4 28	2 13	2 17	-
奄美市	41 392	15 166	5 35	6 51		-	2 18	-		4 28	-	1 9	-
大和村	1 20	-	-	-		-	-	-		-	-	-	-
宇検村	3 73	-	2 69	-		1 4	-	-		-	-	-	-
瀬戸内町	16 149	6 50	1 28	1 6		-	-	-		-	1 7	1 8	-
龍郷町	12 165	3 34	3 63	2 13		-	-	-		-	1 6	-	-
(喜界島)	7 123	4 78	2 38	-		-	-	-		-	-	-	-
喜界町	7 123	4 78	2 38	-		-	-	-		-	-	-	-
(徳之島)	26 295	12 150	7 69	-		1 5	-	-		1 6	-	-	-
徳之島町	12 171	4 60	4 56	-		-	-	-		1 6	-	-	-
天城町	8 56	4 37	2 9	-		1 5	-	-		-	-	-	-
伊仙町	6 68	4 53	1 4	-		-	-	-		-	-	-	-
(沖永良部島)	8 106	2 56	3 20	-		-	-	-		1 4	-	-	-
和泊町	6 97	2 56	2 15	-		-	-	-		-	-	-	-
知名町	2 9	-	1 5	-		-	-	-		1 4	-	-	-
(与論島)	7 77	2 28	1 7	-		-	-	-		-	-	-	-
与論町	7 77	2 28	1 7	-		-	-	-		-	-	-	-
県計 (B)	2,027 71,413	663 25,678	337 5,797	80 2,097		84 1,126	46 379	20 828		96 1,674	21 462	15 144	34 835
(A) / (B) × 100	6.0 2.0	6.6 2.2	1.4 5.7	11.3 3.3		2.4 0.8	4.3 4.7	0 0		6.3 2.3	9.5 2.8	13.3 11.8	0 0

注1 調査対象は、4人以上の事業所。(3人以下は含まない。)
 2 奄美大島には、加計呂麻島、請島、与路島を含む。
 3 申告者の秘密保護のため、隠すべき数字をxで示した。
 4 ()の数字は未公表分を除いた計である。

資料：工業統計

上段：事業所数，下段：従業者数(人)

期日：令和元年 6月 1日

ゴ ム	皮 革	窯 業	鉄 鋼	非 鉄	金 属	機 械	精 密	は ん 用	生 産	業 務	電 子	電 気	情 報	輸 送	そ の 他	製 造 品 出 荷 額 等 (万円)
-	2 x	32 441	2 x	-	8 77	1 x	-					-		1 x	-	4,572,976
-	-	28 421	1 x	-	8 66	2 x	-					-		1 x	-	3,693,476
-	-	33 439	1 x	-	7 x	2 x	-					-		1 x	-	3,645,671
-	-	32 325	-	-	4 39	2 39	-					1 15	-	1 5	1 4	3,497,869
-	-	22 200	-	-	3 31	・は ん 用 に 分 割 産		-	3 43	-	1 31	1 19	-	1 6	1 5	216億円 (非公表含む)
-	-	20 189	-	-	3 31			-	1 33	-	-	1 17	-	1 7	1 5	224億円 (非公表含む)
-	-	19 223	-	-	5 40			-	2 12	-	2 37	1 18	-	1 5	1 5	245億円 (非公表含む)
-	-	18 222	-	-	5 43			-	2 11	-	2 36	1 20	-	1 5	1 7	227億円 (非公表含む)
-	-	10 129	-	-	5 43			-	-	-	-	1 20	-	1 5	1 7	(1,169,350)
-	-	4 48	-	-	3 30			-	-	-	-	-	-	-	1 7	393,861
-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	1 20	-	-	-	x
-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-	233,789
-	-	4 38	-	-	1 7			-	-	-	-	-	-	1 5	-	141,863
-	-	2 43	-	-	1 6			-	-	-	-	-	-	-	-	399,837
-	-	1 7	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-	238,818
-	-	1 7	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-	238,818
-	-	4 54	-	-	-			-	-	-	1 11	-	-	-	-	568,189
-	-	3 49	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-	349,250
-	-	1 5	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-	42,029
-	-	-	-	-	-			-	-	-	1 11	-	-	-	-	176,910
-	-	2 26	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-	(175,819)
-	-	2 26	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-	175,819
-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-	x
-	-	1 6	-	-	-			-	2 11	-	1 25	-	-	-	-	109,353
-	-	1 6	-	-	-			-	2 11	-	1 25	-	-	-	-	109,353
3 26	1 13	171 7,412	7 134	4 434	139 2,729			20 382	96 3,841	18 488	58 12,023	31 2,527	4 453	20 668	59 1,263	206,987,792
0 0	0 0	10.5 3.0	0 0	0 0	3.6 1.6			0 0	2.1 0.3	0 0	3.4 0.3	3.2 0.8	0 0	5 0.7	1.7 0.6	1.1

10-4 産業大分類別事業所数及び従業者数

資料：平成26年経済センサス-基礎調査 事業所に関する集計
 期日：平成26年7月1日現在

市区町村 及び 産業大分類	群島総数						奄美市							
	事業 所数	従業者数				雇用者		事業 所数	従業者数				雇用者	
		総数	個人 業主	無給 の 家族 従業者	雇用者 総数	常用雇 用者	総数		個人 業主	無給 の 家族 従業者	雇用者 総数	常用雇 用者		
全産業（公務を除く）	6,779	42,585	3,246	1,114	34,810	32,108	2,512	18,090	1,099	294	15,209	14,121		
農業，林業	83	489	-	-	358	303	19	104	-	-	86	77		
漁業	26	414	-	-	377	353	6	75	-	-	66	52		
鉱業，採石業，砂利採取業	6	37	-	-	30	29	-	-	-	-	-	-		
建設業	543	4,479	122	36	3,448	3,133	175	1,542	32	7	1,210	1,129		
製造業	451	2,317	246	104	1,665	1,575	169	790	79	31	547	524		
電気・ガス・熱供給・水道業	33	334	-	-	322	318	9	176	-	-	166	164		
情報通信業	41	302	3	3	275	273	22	248	1	1	230	229		
運輸業，郵便業	159	1,877	15	-	1,685	1,599	48	761	2	-	717	679		
卸売業，小売業	1,946	9,232	1,038	474	6,800	5,995	735	4,152	333	125	3,230	2,813		
金融業，保険業	95	756	4	1	699	698	50	482	3	1	440	439		
不動産業，物品賃貸業	285	759	137	40	394	378	119	423	39	17	246	234		
学術研究，専門・技術サービス業	163	655	75	13	501	454	88	318	34	3	243	218		
宿泊業，飲食サービス業	1,004	3,922	801	297	2,686	2,355	360	1,675	278	65	1,261	1,159		
生活関連サービス業，娯楽業	628	1,621	487	72	993	932	243	741	182	21	504	492		
教育，学習支援業	306	2,859	74	16	2,739	2,678	92	1,088	29	6	1,043	1,037		
医療，福祉	491	9,876	98	14	9,580	8,931	200	4,309	54	8	4,156	3,888		
複合サービス事業	115	946	34	8	899	884	24	438	6	2	429	427		
サービス業（他に分類されないもの）	404	1,710	112	36	1,359	1,220	153	768	27	7	635	560		

市区町村 及び 産業大分類	大和村						宇検村							
	事業 所数	従業者数				雇用者		事業 所数	従業者数				雇用者	
		総数	個人 業主	無給 の 家族 従業者	雇用者 総数	常用雇 用者	総数		個人 業主	無給 の 家族 従業者	雇用者 総数	常用雇 用者		
全産業（公務を除く）	74	314	33	21	239	202	99	671	27	11	580	520		
農業，林業	3	16	-	-	15	2	2	8	-	-	6	3		
漁業	1	5	-	-	5	3	4	101	-	-	101	101		
鉱業，採石業，砂利採取業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
建設業	4	29	1	-	17	5	15	114	2	-	82	75		
製造業	13	49	10	2	32	30	7	58	-	-	57	57		
電気・ガス・熱供給・水道業	1	1	-	-	1	1	1	2	-	-	2	2		
情報通信業	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	1		
運輸業，郵便業	-	-	-	-	-	-	1	11	-	-	10	6		
卸売業，小売業	20	44	14	14	14	13	21	67	11	7	42	31		
金融業，保険業	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	5	5		
不動産業，物品賃貸業	1	1	-	-	1	1	3	3	-	-	2	2		
学術研究，専門・技術サービス業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
宿泊業，飲食サービス業	7	21	5	5	11	7	8	39	4	4	28	23		
生活関連サービス業，娯楽業	2	6	1	-	5	5	8	8	8	-	-	-		
教育，学習支援業	6	48	-	-	48	48	8	68	-	-	68	49		
医療，福祉	6	72	-	-	71	71	8	143	1	-	142	131		
複合サービス事業	5	13	2	-	11	10	6	22	1	-	21	21		
サービス業（他に分類されないもの）	5	9	-	-	8	6	5	21	-	-	13	13		

市区町村 及び 産業大分類	瀬戸内町						龍郷町							
	事業 所数	従業者数				雇用者		事業 所数	従業者数				雇用者	
		総数	個人 業主	無給 の家族 従業者	雇用者 総数	常用雇 用者	総数		個人 業主	無給 の家族 従業者	雇用者 総数	常用雇 用者		
全産業（公務を除く）	624	3,480	337	132	2,702	2,438	342	2,094	155	42	1,763	1,676		
農業，林業	5	25	-	-	12	12	2	14	-	-	12	12		
漁業	12	216	-	-	194	186	2	9	-	-	6	6		
鉱業，採石業，砂利採取業	1	5	-	-	1	-	2	21	-	-	21	21		
建設業	40	417	9	4	311	289	29	147	7	5	110	94		
製造業	38	225	25	19	148	120	58	241	35	2	179	170		
電気・ガス・熱供給・水道業	2	15	-	-	13	13	3	32	-	-	32	31		
情報通信業	3	12	-	-	8	8	1	1	-	-	1	1		
運輸業，郵便業	26	155	10	-	133	127	4	35	2	-	33	32		
卸売業，小売業	172	647	110	48	420	330	96	473	52	25	363	342		
金融業，保険業	5	27	-	-	27	27	3	11	-	-	11	11		
不動産業，物品賃貸業	21	46	13	6	18	18	3	22	1	-	14	14		
学術研究，専門・技術サービス業	15	36	7	2	22	17	3	9	1	-	6	6		
宿泊業，飲食サービス業	112	327	95	42	179	163	32	158	18	5	120	103		
生活関連サービス業，娯楽業	58	109	46	9	47	46	27	74	20	2	49	47		
教育，学習支援業	32	256	3	-	250	246	17	202	3	-	195	185		
医療，福祉	39	820	8	-	801	731	25	522	1	-	514	506		
複合サービス事業	17	65	4	-	61	58	10	43	4	1	38	37		
サービス業（他に分類されないもの）	26	77	7	2	57	47	25	80	11	2	59	58		

市区町村 及び 産業大分類	喜界町						徳之島町							
	事業 所数	従業者数				雇用者		事業 所数	従業者数				雇用者	
		総数	個人 業主	無給 の家族 従業者	雇用者 総数	常用雇 用者	総数		個人 業主	無給 の家族 従業者	雇用者 総数	常用雇 用者		
全産業（公務を除く）	438	2,510	228	71	2,012	1,895	881	5,049	458	157	4,048	3,716		
農業，林業	13	58	-	-	51	46	14	96	-	-	44	36		
漁業	1	8	-	-	5	5	-	-	-	-	-	-		
鉱業，採石業，砂利採取業	1	3	-	-	3	3	-	-	-	-	-	-		
建設業	39	302	10	5	225	214	69	463	18	8	343	290		
製造業	33	200	23	14	146	141	31	208	15	9	162	158		
電気・ガス・熱供給・水道業	2	6	-	-	6	6	4	25	-	-	25	24		
情報通信業	1	1	-	-	1	1	6	9	1	1	7	7		
運輸業，郵便業	12	152	-	-	140	140	21	226	-	-	199	196		
卸売業，小売業	121	543	74	22	389	349	242	1,142	131	59	858	799		
金融業，保険業	6	29	-	-	29	29	10	67	1	-	62	62		
不動産業，物品賃貸業	11	19	4	-	13	13	74	136	54	8	49	46		
学術研究，専門・技術サービス業	7	10	5	-	2	2	22	103	12	3	74	60		
宿泊業，飲食サービス業	76	262	60	21	173	162	147	526	120	51	348	280		
生活関連サービス業，娯楽業	34	103	28	3	69	68	86	216	63	7	138	117		
教育，学習支援業	20	168	6	1	154	154	38	303	14	4	283	276		
医療，福祉	28	466	7	3	451	423	53	1,248	6	-	1,220	1,142		
複合サービス事業	11	52	5	-	46	46	11	94	2	-	92	89		
サービス業（他に分類されないもの）	22	128	6	2	109	93	53	187	21	7	144	134		

市区町村 及び 産業大分類	天 城 町						伊 仙 町					
	事業 所数	従 業 者 数					事業 所数	従 業 者 数				
		総 数	個 人 業 主	無 給 の 家 族 従 業 者	雇 用 者			総 数	個 人 業 主	無 給 の 家 族 従 業 者	雇 用 者	
				総 数	常 用 雇 用 者					総 数	常 用 雇 用 者	
全産業（公務を除く）	327	1,938	142	48	1,594	1,424	280	1,654	147	55	1,312	1,228
農 業 ， 林 業	5	26	-	-	23	23	5	26	-	-	18	16
漁 業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鉱業，採石業，砂利採取業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
建設業	33	270	3	2	214	203	45	368	10	1	276	239
製造業	18	132	9	5	103	102	17	93	14	8	67	62
電気・ガス・熱供給・水道業	3	26	-	-	26	26	1	12	-	-	12	12
情報通信業	1	6	-	-	6	5	2	19	-	-	19	19
運輸業，郵便業	14	122	1	-	106	91	4	20	-	-	15	15
卸売業，小売業	105	402	60	24	275	225	77	255	54	31	156	142
金融業，保険業	4	16	-	-	16	16	3	55	-	-	46	46
不動産業，物品賃貸業	6	14	1	-	12	12	6	16	3	1	7	7
学術研究，専門・技術サービス業	4	55	1	1	50	48	2	27	1	1	25	25
宿泊業，飲食サービス業	36	148	26	11	105	80	21	63	20	7	36	35
生活関連サービス業，娯楽業	34	49	30	1	18	13	28	33	28	2	3	3
教育，学習支援業	17	177	1	2	173	173	19	133	2	1	130	130
医療，福祉	21	377	-	-	368	314	26	424	4	1	413	390
複合サービス事業	7	55	3	2	49	47	10	39	4	-	35	33
サービス業（他に分類されないもの）	19	63	7	-	50	46	14	71	7	2	54	54

市区町村 及び 産業大分類	和 泊 町						知 名 町					
	事業 所数	従 業 者 数					事業 所数	従 業 者 数				
		総 数	個 人 業 主	無 給 の 家 族 従 業 者	雇 用 者			総 数	個 人 業 主	無 給 の 家 族 従 業 者	雇 用 者	
				総 数	常 用 雇 用 者					総 数	常 用 雇 用 者	
全産業（公務を除く）	473	2,741	241	106	2,166	1,979	386	2,128	200	72	1,703	1,552
農 業 ， 林 業	10	92	-	-	71	64	4	21	-	-	17	9
漁 業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鉱業，採石業，砂利採取業	1	6	-	-	5	5	1	2	-	-	-	-
建設業	34	288	13	2	231	214	38	313	14	1	238	211
製造業	21	132	11	4	93	89	16	49	7	5	30	22
電気・ガス・熱供給・水道業	1	8	-	-	8	8	4	20	-	-	20	20
情報通信業	3	3	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-
運輸業，郵便業	12	181	-	-	166	165	7	82	-	-	74	59
卸売業，小売業	148	693	75	38	512	464	112	437	61	33	304	273
金融業，保険業	7	42	-	-	42	42	3	13	-	-	13	13
不動産業，物品賃貸業	21	45	11	7	19	19	13	19	9	1	5	5
学術研究，専門・技術サービス業	8	29	5	1	22	22	8	44	6	2	36	35
宿泊業，飲食サービス業	83	235	73	30	123	109	60	213	54	18	141	129
生活関連サービス業，娯楽業	35	123	27	14	73	60	37	78	28	4	41	36
教育，学習支援業	23	134	9	1	123	123	22	158	4	1	152	149
医療，福祉	29	570	6	1	553	477	33	538	7	-	518	489
複合サービス事業	5	43	1	1	40	40	5	39	1	1	37	37
サービス業（他に分類されないもの）	32	117	10	7	83	76	23	102	9	6	77	65

市区町村 及び 産業大分類	与論町						
	事業 所数	従業者数				雇用者	
		総数	個人 業主	無給 の 家族 従 業 者	雇用者 総数	常用雇 用者	
全産業（公務を除く）	343	1,916	179	105	1,482	1,357	
農業，林業	1	3	-	-	3	3	
漁業	-	-	-	-	-	-	
鉱業，採石業，砂利採取業	-	-	-	-	-	-	
建設業	22	226	3	1	191	170	
製造業	30	140	18	5	101	100	
電気・ガス・熱供給・水道業	2	11	-	-	11	11	
情報通信業	1	2	1	1	-	-	
運輸業，郵便業	10	132	-	-	92	89	
卸売業，小売業	97	377	63	48	237	214	
金融業，保険業	3	9	-	-	8	8	
不動産業，物品賃貸業	7	15	2	-	8	7	
学術研究，専門・技術サービス業	6	24	3	-	21	21	
宿泊業，飲食サービス業	62	255	48	38	161	105	
生活関連サービス業，娯楽業	36	81	26	9	46	45	
教育，学習支援業	12	124	3	-	120	108	
医療，福祉	23	387	4	1	373	369	
複合サービス事業	4	43	1	1	40	39	
サービス業（他に分類されないもの）	27	87	7	1	70	68	

（注）調査は、日本標準産業分類に掲げる産業に属する事業所のうち、以下に掲げる事業所並びに国及び地方公共団体の事業所を除く事業所・企業（以下「調査事業所」という。）について行った。

- ①農業・林業に属する個人経営の事業所
- ②漁業に属する個人経営の事業所
- ③生活関連サービス業，娯楽業のうち、小分類792-家事サービス業に属する事業所
- ④サービス業（他に分類されないもの）のうち、中分類96-外国公務に属する事業所

【経済センサス実施まで】

従来、経済に関連した大規模統計調査が数多く実施されてきたものの、近年増大しているサービス産業をカバーする統計調査は少ないなど、基礎資料として不十分な面もあり、また、それぞれ異なる時期に行われることから、調査対象事業所・企業の負担も大きくなっていった。

このため、GDP等の経済統計の精度向上や、事業所・企業の母集団情報のよりの確な整備を図るといった観点から、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2005」（いわゆる「骨太の方針」）（平成17年6月21日閣議決定）において経済センサスの実施が提言され、「事業所・企業統計調査」の廃止など、統計調査の統廃合、簡素・合理化が行われた。

（参考）農林漁業・宿泊業，飲食サービス業及び情報通信業における従業者数の推移

単位：事業所，人

統計名	平成24年経済センサス活動調査			平成26年経済センサス基礎調査			平成28年経済センサス活動調査		
	農林漁業	宿泊業 飲食サービス業	情報通信業	農林漁業	宿泊業 飲食サービス業	情報通信業	農林漁業	宿泊業 飲食サービス業	情報通信業
総数	(104) 950 (1,012)	4,109 (44)	385	(109) 903 (1,004)	3,922 (41)	302	(92) 889 (929)	3,614 (46)	296
（奄美大島）	(54) 583 (525)	2,404 (28)	267	(56) 573 (519)	2,220 (27)	262	(48) 546 (474)	2,120 (35)	266
奄美市	(22) 177 (369)	1,862 (25)	255	(25) 179 (360)	1,675 (22)	248	(19) 120 (329)	1,630 (31)	245
大和村	(4) 27 (6)	14 (0)	0	(4) 21 (7)	21 (0)	0	(3) 16 (4)	6 (0)	0
宇検村	(6) 115 (8)	39 (1)	1	(6) 109 (8)	39 (1)	1	(5) 100 (7)	40 (1)	10
瀬戸内町	(17) 241 (110)	326 (2)	11	(17) 241 (112)	327 (3)	12	(16) 271 (106)	291 (2)	9
龍郷町	(5) 23 (32)	163 (0)	0	(4) 23 (32)	158 (1)	1	(5) 39 (28)	153 (1)	2
（喜界島）	(12) 106 (74)	234 (1)	1	(14) 66 (76)	262 (1)	1	(11) 62 (71)	227 (1)	2
喜界町	(12) 106 (74)	234 (1)	1	(14) 66 (76)	262 (1)	1	(11) 62 (71)	227 (1)	2
（徳之島）	(19) 95 (209)	790 (10)	103	(24) 148 (204)	737 (9)	34	(18) 122 (185)	662 (8)	26
徳之島町	(14) 76 (149)	526 (8)	92	(14) 96 (147)	526 (6)	9	(9) 64 (128)	482 (6)	8
天城町	(4) 16 (35)	193 (0)	0	(5) 26 (36)	148 (1)	6	(4) 24 (32)	125 (0)	0
伊仙町	(1) 3 (25)	71 (2)	11	(5) 26 (21)	63 (2)	19	(5) 34 (25)	55 (2)	18
（沖永良部島）	(17) 161 (143)	498 (5)	14	(14) 113 (143)	448 (3)	3	(14) 153 (138)	416 (2)	2
和泊町	(13) 130 (86)	284 (5)	14	(10) 92 (83)	235 (3)	3	(10) 124 (84)	224 (2)	2
知名町	(4) 31 (57)	214 (0)	0	(4) 21 (60)	213 (0)	0	(4) 29 (54)	192 (0)	0
（与論島）	(2) 5 (61)	183 (0)	0	(1) 3 (62)	255 (1)	2	(1) 6 (61)	189 (0)	0
与論町	(2) 5 (61)	183 (0)	0	(1) 3 (62)	255 (1)	2	(1) 6 (61)	189 (0)	0

（注）（ ）は事業所数

10-5 商工会議所・商工会

資料：商工政策課
期日：令和2年7月1日

名 称 代 表 者	地 区	設 立 認 可 年 月 日	事 務 所 所 在 地	電 話 番 号
奄美大島商工会議所 会頭 有村 修一	奄美市名瀬	S33. 12. 3	奄美市名瀬入舟町12-6	0997-52-6111
宇 檢 村 商 工 会 会 長 保池 広和	宇 檢 村	S40. 4. 19	大島郡宇檢村湯湾7-1	0997-67-2661
瀬戸内町商工会 会 長 政岡 博重	瀬戸内町	S36. 1. 23	大島郡瀬戸内町古仁屋大湊6-1	0997-72-0147
龍郷町商工会 会 長 重野 寛輝	龍郷町	S37. 6. 22	大島郡龍郷町瀬留906	0997-62-2131
あまみ商工会 会 長 奥 篤次	奄美市笠利町 大和村 奄美市住用町	H20. 4. 1	(笠利本所)奄美市笠利町大字里425-1 (大和支所)大島郡大和村大和浜80-5 (住用支所)奄美市住用町西仲間72-9	0997-63-0058 0997-57-2033 0997-69-2139
喜界町商工会 会 長 松田 裕道	喜界町	S36. 11. 11	大島郡喜界町湾384-1	0997-65-0169
徳之島町商工会 会 長 吉川 清吾	徳之島町	S36. 11. 28	大島郡徳之島町亀津986-4	0997-82-1409
天城町商工会 会 長 柏井 洋一	天城町	S35. 12. 1	大島郡天城町平土野35-4	0997-85-2037
伊仙町商工会 会 長 佐倉 功一	伊仙町	S38. 10. 2	大島郡伊仙町伊仙2293-4	0997-86-2390
和泊町商工会 会 長 山田 明	和泊町	S36. 3. 9	大島郡和泊町和泊1225	0997-92-0148
知名町商工会 会 長 原田 孝志	知名町	S36. 8. 31	大島郡知名町知名303-1	0997-93-2105
与論町商工会 会 長 田畑 克夫	与論町	S41. 5. 11	大島郡与論町茶花2323-1	0997-97-2113

2 大 島 紬

大島紬の歴史は古く、その起源は約1,300年以前（西暦661年天智天皇）にさかのぼり、わが国染色織物の最も古い伝統をもつものといわれている。大島紬の古代染色技術と民芸品的古典の渋味は高く評価され、今日では文化財的貴重な織物となっている。

初期の大島紬は、真綿を手でつむいだ紬糸をたてよこともに使い、無地や縞を織る技術としてはいたって未熟なものであった。明治の文明の開化と同時に技術の改善もすすみ、明治時代には藍、松実、ヒルギ、テーチ木などの煎汁をとり、その染料を使ったネズミ色の染じまから縞を織るようになり、染色もテーチ木と泥染めで濃く染め、大島紬の名で商品として広く売りだされるようになった。大正末期までは、黒茶色の縞が代表的で大半を占め、この時代になって大島紬の最盛期を迎えるようになった。

昭和2年には、鹿児島県工業試験場大島分場として大島染織指導所（工業技術センター企画支援部奄美市駐在（平成29年廃止））が設置され、技術の研究とその指導にあたった。紬業は戦時中衰微したが、昭和28年の本土復帰以後は、復興・振興事業による産業開発整備もすすみ、業界もようやく活況をみせはじめた。昭和31年には泥藍染、縞の藍の抜染技術に続き、多色の大島紬の研究にも成功し、時代にマッチした模様柄が生産されるようになった。日本経済の高度成長期には需要も大幅に伸び、奄美群島の基幹産業としての重要な地位を確保するに至った。

しかし、昭和47年をピークに、その後の経済安定成長への移行、和装需要の低迷等の要因によって、その生産は逡減し、特に昭和60年以降大幅な減産となり、群島経済に多大な影響を与えている。

このため、消費者ニーズの多様化等に対応した情報収集機能・商品企画機能・多品種少量対応機能等の強化向上を図る必要がある。

10-6 市町村別生産反数

資料：大島支庁総務企画課
期間：各年1月～12月
単位：反

年次別 市町村別	S47	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	R元	R2
（奄美大島）	281,146	227,275	121,501	60,028	36,338	26,606	8,849	5,096	3,671	3,385
奄美市	—	—	—	—	—	—	6,305	3,564	2,689	2,363
名瀬市	264,478	148,452	66,837	33,068	20,735	15,828	—	—	—	—
住用村	532	427	100	0	0	0	—	—	—	—
笠利町	5,763	53,931	43,402	21,446	10,025	4,827	—	—	—	—
大和村	151	111	125	0	0	0	0	0	0	0
宇検村	178	390	2	4	0	0	0	0	0	0
瀬戸内町	2,792	4,120	1,730	94	35	0	0	0	0	0
龍郷町	7,252	19,844	9,305	5,416	5,543	5,951	2,544	1,532	982	1,022
（喜界島）	886	7,770	4,378	2,569	944	667	69	8	0	0
喜界町	886	7,770	4,378	2,569	944	667	69	8	0	0
（徳之島）	2,083	2,671	212	0	48	0	0	0	0	0
徳之島町	2,083	2,380	125	0	48	0	0	0	0	0
天城町	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0
伊仙町	0	282	87	0	0	0	0	0	0	0
（沖永良部島）	93	740	220	84	9	0	0	0	0	0
和泊町	93	635	212	84	9	0	0	0	0	0
知名町	0	105	8	0	0	0	0	0	0	0
（与論島）	70	91	0	74	0	0	1	2	0	0
与論町	70	91	0	74	0	0	1	2	0	0
（合計）	284,278	238,547	126,311	62,755	37,339	27,273	8,919	5,106	3,671	3,385

（注）奄美大島には、加計呂麻島、請島、与路島を含む。

10-7 年次別生産反数・生産金額

資料：大島支庁総務企画課
 期間：各年1月～12月
 単位：反，千円，%

年	区 分	生 産 反 数		生 産 金 額	
		反 数	前 年 比	金 額	前 年 比
	平成30	3,862	88	320,075	90
	令和元	3,671	95	309,975	97
	2	3,385	92	287,383	93

10-8 染別生産反数

資料：大島支庁総務企画課
 期間：各年1月～12月
 単位：反

年	区 分	合 計	構 成 比 (%)					構 成 比 (%)						
			泥 染	泥 あ い 染	化 染	あい染	草木染	複数染 料 染	泥 染	泥 あ い 染	化 染	あい染	草木染	複数染 料 染
	平成30	3,862	1,716	57	1,692	-	397	-	44.4	1.5	43.8	-	10.3	-
	令和元	3,671	1,812	59	1,514	-	286	-	49.4	1.6	41.2	-	7.8	-
	2	3,385	1,583	86	1,515	-	201	-	46.8	2.5	44.8	-	5.9	-

10-9 経緯緋・緯緋別生産反数

資料：大島支庁総務企画課
 期間：各年1月～12月
 単位：反

年	区 分	合 計	構 成 比 (%)		構 成 比 (%)	
			経 緯 緋	緯 緋	経 緯 緋	緯 緋
	平成30	3,862	3,566	296	92.3	7.7
	令和元	3,671	3,400	271	92.6	7.4
	2	3,385	3,103	282	91.7	8.3

10-10 品級別・女物男物別生産反数

資料：大島支庁総務企画課
 期間：各年1月～12月
 単位：反

区分		年			
		平成30	令和元	令和2	
高級品	高級品計	414	457	499	
	女物	414	457	499	
	男物	—	—	—	
中級品	中級品計	2,732	2,493	2,083	
	女物	2,709	2,459	2,020	
	男物	23	34	63	
並品	並品計	716	721	803	
	女物	461	434	480	
	男物	255	287	323	
女物計		3,584	3,350	2,999	
男物計		278	321	386	
合計		3,862	3,671	3,385	
構成比 (%)	品級別	高級品	10.7	12.4	14.7
		中級品	70.7	67.9	61.5
		並品	18.5	19.6	23.7
	男女物別	女物	92.8	91.3	88.6
		男物	7.2	8.7	11.4

10-11 算別生産反数

資料：大島支庁総務企画課
 期間：各年1月～12月
 単位：反

年	区分	合計		構成比 (%)		
		15半算	13算	15半算	13算	
平成30		3,862	2,977	885	77.1	22.9
令和元		3,671	2,818	853	76.8	23.2
2		3,385	2,526	859	74.6	25.4

10-12 大島紬関係施設

資料：大島支庁総務企画課
期日：令和2年12月31日

施設名	設置主体	設置箇所
(紬従事者福利厚生施設) 大島紬従事者福利厚生センター	奄美市	奄美市名瀬(1)
(紬従事者の資質の向上施設) 本場奄美大島紬技術専門学院 織工養成所	本場奄美大島紬協同組合 市・町	奄美市名瀬(1) 奄美市笠利町(1), 龍郷町(2), 瀬戸内町(1), 与論町(1)
(共同作業施設) 共同泥染工場 共同糊張施設 本場奄美大島紬泥染公園 紬会館4階機織り場	奄美市 本場奄美大島紬協同組合・市・町 奄美市 本場奄美大島紬協同組合	奄美市笠利町(1) 奄美市名瀬(1), 奄美市笠利町(1), 龍郷町(6) 奄美市名瀬(1) 奄美市名瀬(1)
(調査研究・検査施設) 大島紬検査場	本場奄美大島紬協同組合	奄美市名瀬(1)
(紬総合施設) 奄美市産業支援センター	奄美市	奄美市名瀬(1)

(注) 設置箇所の()内は箇所数

3 奄美黒糖焼酎

奄美群島は、琉球王朝や薩摩藩による支配、戦後のアメリカ軍政統治の時代を通して、大きな三つの支配機構の中に組み込まれ、島民の生活史はもちろん焼酎の製造についても波乱万丈の歴史であった。

奄美群島での焼酎製造はいつ頃から始まったか定かではないが、琉球王朝時代の人的交流から推測すると、16世紀半ばには泡盛が飲まれており、製造技術も密かに伝えられていたと考えても不思議ではない。

江戸末期には、藩のお家騒動に係った罪で奄美大島に流された、薩摩藩士の名越左源太の著書「南島雑話」の中には「留汁焼酎とてサトウキビを澄ましたる汁を入れることあり、至りて結構なり」と文章があり、ここに黒糖焼酎の原形を見ることができる。

明治時代になると、酒造を業とする酒屋に酒造免許料及び醸造税が課税されるほか、農家の自家醸造酒の製造が認められ課税された。

明治32年に自家用醸造が全面的に禁止されると、農家は一転して明治末期まで焼酎の密造を始め、沖縄からの焼酎の密輸入も頻繁になった。

大正時代には関係官庁の指導もあり、沖縄の醸造技術者の指導を得て、奄美で初めて沖永良部島に小浜酒造所が設立され、引き続き大正5年以後、喜界島に喜禎酒造所(現・朝日酒造)、沖永良部島に沖酒造所、名瀬に新納酒造所(現・弥生焼酎醸造所)、徳之島に亀澤酒造所と次々と誕生し、現在では25歳の単式蒸留焼酎製造場と2社の共同瓶詰工場がある。

その後も動乱期に入り、度重なる戦争で入手できる原料は極限され、戦時中からアメリカ軍政下の時代まで、ソテツや椎の実そしてカボチャや桑・黒砂糖等を含む様々な原料を用いて焼酎が造られていたと言われている。

酒税法では、砂糖類を原料とする酒類はラム酒に該当し、焼酎との税率に相当の差があったが、昭和28年の奄美群島の日本復帰に伴い、酒税法の特例通達として奄美群島の製造者を保護育成する意味で、米こうじを併用することを条件に大島税務署の管轄区域内、唯一奄美群島だけに黒糖焼酎の製造が認められ、法的にはこの時に黒糖焼酎が誕生し、現在に至っている。

これまでの数次にわたる焼酎ブームにより、製成・課税移出とともに飛躍的な伸びを見せたが、近年、少子高齢化による飲酒人口の減少等により国内需要は飽和状態の中、各蔵は安心安全を第一に日々研鑽を重ねながら、消費者ニーズに対応した製品造りを目指している。

10-13 酒造年度別奄美黒糖焼酎製成数量、課税移出数量、移出額

資料：鹿児島県酒造組合奄美支部
単位：Kl, 百万円

酒造年度	製成数量	課税移出数量	移出額
昭和 50	3,532	2,967	1,434
60	7,791	5,593	3,790
平成 7	5,815	4,690	3,777
12	7,169	5,137	4,994
16	16,694	10,666	10,370
17	16,290	10,885	10,583
22	8,057	8,005	7,783
28	6,385	7,490	7,178
29	6,523	7,527	7,318
30	5,994	7,385	7,180
令和 元	6,119	7,271	7,069

(注) 製成数量、課税移出数量は酒造年度(7月～翌年6月)
平成16酒造年度が製成数量ピーク、平成17酒造年度が課税移出数量のピークである。

10-14 市町村別焼酎等製造施設等

資料：大島税務署(銘柄は鹿児島県酒造組合奄美支部)
 期日：令和2年10月1日現在

市町村名	製造場等	酒類の品目	銘柄	所在地	摘要
奄美市	(資) 弥生焼酎醸造所	焼酎	弥生	奄美市名瀬小浜町	
奄美市	(株) 西平本家	焼酎	せえごれ	奄美市名瀬古田町	
奄美市	西平酒造(株)	焼酎	珊瑚	奄美市名瀬小俣町	
奄美市	(有) 富田酒造場	焼酎 リキュール リキュール	龍時 計カ ッ	奄美市名瀬入舟町	
奄美市	渡酒造(株)	焼酎	あまみ六調	奄美市名瀬小浜町	
奄美市	(有) 奄美ハブ酒本舗	リキュール	奄美ハブ酒	奄美市名瀬金久町	
瀬戸内町	(株) 天海の蔵	焼酎	天海	瀬戸内町手安	
宇検村	(株) 奄美大島開運酒造	焼酎 リキュール	れん たんかん と フレーバー	宇検村湯湾	
龍郷町	町田酒造(株)	焼酎 リキュール	里 奄美 たんかん 曙酒	龍郷町大勝	
龍郷町	(有) 山田酒造	焼酎	長雲	龍郷町大勝	
龍郷町	奄美大島酒造(株)	焼酎 リキュール	じょ う ご 奄美たんかんリキュール	龍郷町浦	
喜界町	朝日酒造(株)	焼酎 リキュール	朝 ミ カ ン 日 耐	喜界町湾	
喜界町	朝日酒造(株)第二工場	焼酎	朝日	喜界町湾	
喜界町	喜界島酒造(株)	焼酎	喜界島	喜界町赤連	
徳之島町	(有) 亀澤酒造場	焼酎	奄美	徳之島町亀津	
徳之島町	高岡醸造(株)	焼酎 スピリッツ	奄 ル リ カ ケ 美 ス	徳之島町亀津	
徳之島町	奄美酒類(株)	焼酎	奄美	徳之島町亀津	
徳之島町	天川酒造(株)	焼酎	奄美	徳之島町花徳	
徳之島町	(株) 奄美大島にしかわ酒造	焼酎 リキュール	島の ナポ レオ ン 梅 酒	徳之島町白井	
伊仙町	(有) 松永酒造場	焼酎	奄美	伊仙町阿三	
天城町	中村酒造(株)	焼酎	奄美	天城町平士野	
和泊町	(有) 沖酒造	焼酎	稲乃露	和泊町手々知名	
和泊町	(有) 竿田酒造	焼酎	稲乃露	和泊町国頭	
和泊町	沖永良部酒造(株)内東蔵	焼酎 リキュール	稲 ア ガ リ ク ス 乃 露 酒	和泊町玉城	
知名町	原田酒造(株)	焼酎 リキュール	昇 コ ー ヒ ー リ ク ー ル 龍	知名町知名	
知名町	新納酒造(株)	焼酎 リキュール	天 沖 州 水 一 神	知名町田皆	
知名町	(有) 神崎産業	焼酎	稲乃露	知名町上城	
与論町	有村酒造(株)	焼酎	島有泉	与論町茶花	

(注) 焼酎の「銘柄」は代表銘柄です。

4 電力・ガス

(1) 電力

① 沿革

奄美群島の電気事業は明治44年大島電気㈱が開業したのが始まりである。

本土復帰後は大島電力㈱と四公営電気事業（大和村及び瀬戸内町の一部、喜界町、与論町）で供給していたが、奄美群島電気事業の九州電力㈱への統合計画に基づいて、昭和47年4月1日公営電気事業を大島電力㈱に段階的に吸収合併、昭和48年3月1日大島電力㈱を九州電力㈱に吸収合併し、群島電力事業の統合が実現、今日に至っている。

② 群島の電源と特徴

群島の電源としては、本土にみられる原子力、火力、大規模水力などと違い、散在する離島の地形、立地、経済性等から多数の内燃力発電（ディーゼル）が主であることが特徴である。

10-15 電力種別毎の概要

資料：九州電力送配電（株）奄美配電事業所
期日：令和2年3月末日現在

電力種別	発電所数	機 関 数	認可出力	備 考
水力発電所	3か所	3 台	3,510 kW	発電所数のガスタービンは内燃力発電所に設置されており再掲である。
内燃力発電所	10か所	46 台	158,360 kW	
ガスタービン	(3か所)	3 台	3,300 kW	
合 計	13か所	52 台	165,170 kW	

奄美大島には、昭和55年6月竜郷発電所にわが国最大級（単機出力10,000kW級）の内燃力発電機関が設置され、現在、同型機6機が稼働中である。

また、国のエネルギー施策の一環として徳之島で海洋温度差発電、沖永良部島で風力発電など電源多様化、新技術開発の実験、開発も行われた実績がある。沖永良部島では太陽光発電設備30kWが平成6年3月からの実証試験を終え、営業稼働中であったが、平成26年3月に設備老朽化により廃止となっている。

③ 需要構成（令和2年3月31日現在）

需要構成は、電灯契約口数92,650口、電灯使用量224百万kWh（構成比48.4%）、電力契約7,800口、電力使用量239百万kWh（構成比51.6%）で、販売電力量は対前年比+0.7%となっている。

④ 輸送設備の送電線、配電線巨長（令和2年3月末日現在）

送電線は、33.0km設置されており、奄美大島が30.2km、与論島が2.8km。配電線は、3,335.7kmが群島内に設置されている。

これらの設備は、台風常襲地帯として台風対策工事や塩害対策工事など、設備強化を推進し供給信頼度の向上が図られている。

⑤ 再生可能エネルギーの状況（令和2年3月31日現在）

太陽光、風力などの再生可能エネルギーの導入は、エネルギー自給率の向上や、温室効果ガスの削減等にとって重要である。

太陽光発電設備については、住宅等で導入されているほか、メガソーラーも設置されている。太陽熱を利用した給湯設備や風力発電設備については、医療福祉施設や公共施設などにおいて導入されている。

また、製糖工場におけるさとうきびの絞りかす（バガス）を利用した発電など、奄美の地域特性に応じた再生可能エネルギーの活用も図られているところである。

10-16 太陽光発電及び風力発電の概要

資料：九州電力送配電（（株））奄美配電事業所
 期日：令和2年3月末日現在

	太陽光				風力				設置場所
	電力会社設備		一般のお客さま設備		電力会社設備		一般のお客さま設備		
	件数 (件)	電力規模 (kW)	件数 (件)	電力規模 (kW)	件数 (件)	電力規模 (kW)	件数 (件)	電力規模 (kW)	
稼働中	1	30	1,021	22,547	1	1,990	8	1,300	奄美大島, 喜界島, 与論島, 徳之島, 沖永良部島

(注) この表の「一般のお客さま」とは、電力会社と電力需給契約締結者をいう。

10-17 島別認可出力及び島別年間最大発生電力

資料：九州電力送配電（（株））鹿児島支社
 期日：令和2年3月末日

島別	発電所別	原動力	認可出力(kW)	年間瞬間最大発生電力 (kW)	備考
喜界島	喜界発電所	内燃力	2,100	10,200	H21. 7.21
	新喜界発電所	内燃力	11,700		
	新喜界発電所	ガスタービン	1,100		
奄美大島	新住用川発電所	水力	3,000	70,440	H19. 7.23
	名音川発電所	水力	370		
	竜郷発電所	内燃力	60,000		
	名瀬発電所	内燃力	21,000		
	古仁屋発電所	内燃力	4,750		
徳之島	秋利神発電所	水力	140	24,780	H29. 7.31
	新徳之島発電所	内燃力	21,000		
	亀津発電所	内燃力	7,500		
沖永良部島	新知名発電所	内燃力	22,500	16,620	H15. 8. 1
	新知名発電所	ガスタービン	1,100		
与論島	与論発電所	内燃力	2,210	5,470	H29. 8.24
	新与論発電所	内燃力	5,600		
	新与論発電所	ガスタービン	1,100		
計			165,170		

(注)1 備考欄は年間瞬間最大発生電力を記録した年月日

10-18 電力需給状況の推移

資料：九州電力送配電（（株））鹿児島支社
 期日：各年4月1日～翌年3月31日

種別 年度	発生電力量 (MWh)				販売電力量 (MWh)			
	総計	指数	水力	内燃力	総計	指数	電灯	電力
昭和29年	4,045	4	3,910	135				
49	112,274	100	11,656	100,618	91,913	100	62,628	29,285
50	131,233	117	11,423	119,810	108,281	118	73,837	34,444
55	237,219	211	10,784	226,435	199,918	218	122,971	76,947
60	285,217	254	8,512	276,705	245,926	268	145,639	100,287
平成元年	337,401	301	9,521	327,880	294,805	321	167,472	127,333
2	361,508	322	10,287	351,221	314,780	342	175,596	139,184
7	458,704	409	9,711	448,993	398,990	434	217,226	181,764
12	522,104	465	11,147	510,957	458,742	499	244,619	214,123
17	551,793	491	11,894	539,899	509,271	554	258,181	251,090
22	569,362	507	9,533	559,829	514,013	559	254,424	259,589
28	517,016	460	7,894	509,122	482,181	525	236,182	245,999
29	508,112	453	12,067	496,045	478,171	520	235,398	242,773
30	485,503	432	13,235	472,268	459,245	500	222,587	236,658
令和元年	480,813	428	10,636	470,177	462,593	503	223,766	238,827

(注) 指数は昭和49年=100
 発生電力量の内燃力には、ガスタービンを含む。

10-19 販売電力量（内訳）

資料：九州電力送配電（（株））奄美配電事業所
 期日：平成31年4月1日～令和2年3月31日

電灯	契約種別	口数	MWh
		定額電灯	1,617
	従量電灯	71,869	217,468
	農事用電灯	0	1
	公衆街路灯	18,909	5,270
	臨時電灯	255	423
	計	92,650	223,766
電力		7,800	238,827
電灯電力合計		100,450	462,593

(注) 契約口数はR2.3現在

(2) ガ ス

奄美群島に本格的なL Pガスの導入が開始されたのは、昭和32年からで、以来、群島各地域で普及が図られ、現在は奄美群島で広く使用されている。

奄美大島で、昭和42年に名瀬市街地において、また、昭和47年からその他の地域において都市ガスの供給が開始され、その普及率は、開始以来増加していたが、近年はほぼ横ばいである。

また、L Pガスの供給については、一般消費者等に対して38事業所がガスの販売営業を行っている一方で、都市ガスの供給については、6事業所において営業されている。

10-20 L Pガス及び都市ガスの普及率

資料：大島支庁総務企画課

区 分	普 及 率 (%)		群 島 全 世 帯 数 (各年度1月1日現在)
	L P ガ ス	都 市 ガ ス	
昭 和 40 年	81.2	0.0	47,413
50	83.2	16.6	47,935
60	77.3	22.6	52,734
平 成 7 年	73.7	26.0	52,193
17	71.8	28.1	52,740
27	69.3	30.5	49,713
29	69.1	30.9	49,090
30	68.8	29.6	48,917
令 和 元 年	67.8	30.2	49,136

(注) 群島全世帯数は、鹿児島県毎月推計人口調査に基づく。

10-21 L Pガス（一般家庭用及び業務用）の消費量の推移

資料：大島支庁総務企画課

区 分	消 費 量 (ト ン)					
	奄 美 大 島	喜 界 島	徳 之 島	沖 永 良 部 島	与 論 島	総 計
昭和50年	2,965	455	1,438	595	233	5,686
60	3,300	468	1,728	780	356	6,632
平成7年	3,562	541	1,705	838	335	6,981
17	3,659	481	1,648	860	319	6,968
27	3,172	437	1,204	409	272	5,249
29	3,050	387	1,133	578	254	5,402
30	3,086	384	1,240	532	272	5,514
令和元年	2,945	369	1,238	524	268	5,343

- 注1 都市ガスを除く。
 2 業務用には自動車燃料用L Pガスを含まない。
 3 奄美大島には、加計呂麻島、請島、与路島を含む。

5 中小企業等協同組合

令和2年4月1日現在、事業協同組合30、信用協同組合1、協同組合連合会1、協業組合3、商店街振興組合1、計36組合がある。この中には、活発な事業活動を行っている組合もあるが、休眠状態のものもあり、事業再開の見込みのないものについては解散の指導が行われている。中小企業を取り巻く環境は厳しく、組合の組織強化と企業の合理化を図るためには、補助及び融資のあっせん等の措置も必要であるが、業態の体質改善等企業努力にまたなければならないものもある。

10-22 中小企業等協同組合

資料：鹿児島県中小企業関係組合名簿
期日：令和2年4月1日
単位：人、千円

組 合 名	地 区	設立日	組合員数	出資金	住 所
本場奄美大島紬協同組合	奄美市，大島郡	S29. 6. 23	87	5,080	奄美市名瀬浦上町48-1
奄美大島建設業協同組合	奄 美 市	S29. 10. 4	22	4,600	〃 長浜町14-7
大島たばこ販売協同組合	大島郡（除く徳之島）	S30. 9. 19	344	9,708	〃 仲勝町1-23
奄美電気工事業協同組合	奄美市，大島郡	S36. 10. 4	57	285	〃 長浜町29-29
奄美大島エルピーガス協同組合	奄美市,龍郷町,瀬戸内町, 大和村,宇検村	S43. 12. 26	2	4,000	〃 佐大熊町2462
奄美大島自動車整備工業 協 同 組 合	奄美市，大島郡一円	S44. 9. 25	145	24,650	〃 和光町12-2
南西建設業協同組合	奄美市，大島郡	S46. 12. 8	29	5,800	〃 鳩浜町19
奄美市管工事協同組合	奄 美 市	S47. 11. 28	14	2,800	〃 名瀬平田町12-1
本場奄美大島紬販売協同組合	奄美市，龍郷町	S52. 6. 25	21	4,800	〃 浦上町48-1
奄美大島砕石業協同組合	奄美市,龍郷町,瀬戸内町, 大和村,宇検村	S54. 5. 25	7	1,800	〃 長浜町4-3
奄美大島生コンクリート 協 同 組 合	奄美市，龍郷町	S57. 5. 13	3	1,500	〃 久里町3-24
奄美大島酒造協同組合	奄美市，大島郡	S57. 7. 26	28	1,340	〃 港町15-1
大島砂生産事業協同組合	奄美市，大島郡	S57. 8. 20	5	5,000	〃 長浜町4-3-301
名瀬青果食品協同組合	奄美大島本島	H 3. 6. 4	79	3,950	〃 長浜町32-25
大島地区資源再生協同組合	奄美市，瀬戸内町	H16. 3. 16	14	1,250	〃 朝仁605-21
奄美群島採石業協同組合	奄美市，大島郡	H18. 12. 6	8	6,800	大島郡龍郷町中勝1625
奄美酒販協同組合	奄美市，大島郡	H17. 3. 15	48	2,330	奄美市名瀬小浜町21-7
名瀬港港湾運送事業協同組合	奄 美 市	H20. 2. 6	4	200	〃 塩浜町2278-1
奄美情報通信協同組合	鹿 児 島 県	H22. 6. 23	20	390	〃 小俣町3-50
瀬戸内町大島紬協同組合	瀬 戸 内 町	S57. 5. 24	10	110	大島郡瀬戸内町 古仁屋瀬久井西10-11

組 合 名	地 区	設立年月日	組 員 数	出 資 総 額	事務所所在地
奄美大島南部生コン協同組合	奄美市住用町, 大和村, 宇検村, 瀬戸内町	S57. 9. 21	4	2,000	〃 大字阿木名333-3
(協)加計呂麻農園	瀬戸内町	H27. 3. 23	4	20	〃 大字西阿室84
奄美ビルメンテナンス協同組合	奄美市	R元. 8. 30	4	1,200	奄美市名瀬小浜町21-1
徳之島たばこ販売協同組合	徳之島町, 天城町, 伊仙町	S30. 10. 1	52	2,055	大島郡徳之島町亀徳 2184-36
徳之島きび輸送事業協同組合	徳之島町, 天城町, 伊仙町	S54. 6. 18	19	3,150	〃 徳之島町亀津58
徳之島廃液処理協同組合	徳之島町, 天城町, 伊仙町	H 4. 3. 10	6	3,600	〃 徳之島町亀津1194
徳之島木工房協同組合	徳之島町, 天城町, 伊仙町	H17. 4. 1	3	900	〃 天城町松原1628-1
永良部ガス事業協同組合	和泊町, 知名町	S49. 8. 20	4	25,600	〃 和泊町手々知名 512-138
北大島南西生コンクリート協同組合	和泊町, 知名町, 龍郷町	H17. 10. 26	2	1,500	〃 和泊町手々知名153
南栄建設協同組合	鹿児島県, 沖縄県	S54. 8. 16	12	47,200	〃 与論町大字麦屋 1305-5
鹿児島県本場大島紬協同組合連合会	鹿児島県	S49. 10. 9	3	600	奄美市名瀬浦上町48-1
奄美信用組合	奄美市, 鹿児島市他	S31. 5. 11	32,069	703,581	〃 幸町6-5
喜界自動車整備協業組合	—	S50. 10. 25	1	2,000	大島郡喜界町赤連2932
天城町エルピーガス協業組合	—	S48. 12. 1	3	6,000	〃 天城町天城名須 451-1
とくのしまガス協業組合	—	S45. 1. 14	7	17,500	〃 伊仙町伊仙2654-3
名瀬中央通りアーケード商店街振興組合	名瀬中央通り アーケード商店街	H 4. 3. 19	41	2,000	奄美市名瀬末広町10-26

6 計 量

(1) 沿 革

我国の計量制度は、古く大宝年間にさかのぼると言われている。戦前は明治8年の度量衡取締条例、これに代わる明治24年の度量衡法（明治24年に大改正）の制定によって社会生活の基本制度として運用されてきた。

その後、大改革が行われ、昭和26年に計量法（平成5年度に大改正）として生まれ変わって今日に至っている。

本県においては、度量衡取締条例の制定に伴って明治8年に内務部勸業課に、度量衡掛が置かれたのが計量行政の始まりで、以来幾多の変遷を経て現在に至っている。

なお、大島群島にあっては昭和31年9月奄美市名瀬に駐在員を置き計量行政を司ってきた。

(2) 群島の届出・登録・指定事業者

計量法では、社会生活の基準である計量を具体的に表示する器具又は機械を計量器とし、取引又は証明及び一般消費者の生活面に使用されるものを特定計量器と定めている。

なお、正確な特定計量器を供給、不正確な計量の防止及び適正な計量管理のため、届出・登録・指定制度を設けている。

10-23 計量関係事業者の現況（令和2年10月31日現在）

(ア) 修理事業者

事業区分	事業者数
タクシーメーター	2
自 重 計	3

(イ) 販売(質量計)事業者

事業者数
49

(ウ) 適正計量管理事業所

知 事 指 定
99 (郵便)

10-24 計量関係事業者名

事業者名	所在地	事業区分
田中タクシ(株)	奄美市	タクシメーター
徳之島総合陸運(株)	徳之島町	タクシメーター
(有)興和自動車整備工場	知名町	自重計
(有)田井整備工場	天城町	自重計
(有)オートライフ	奄美市	自重計

10-25 定期検査

特定計量器のうち、性能及び器差について、定期的に検査を行うことが必要なもの（質量計）を取引又は証明に使用する者は、2年に1回定期検査を受けなければならない。

年 度	平成28		平成29		平成30		令和元		令和2	
	検査戸数	検査個数	検査戸数	検査個数	検査戸数	検査個数	検査戸数	検査個数	検査戸数	検査個数
奄美市			424	972	1	1	398	884		
大和村			66	85			65	77		
宇検村			46	78			43	75		
瀬戸内町			111	199			111	228		
龍郷町			68	135			66	128		
喜界町			75	172			65	156		
徳之島町	103	214			90	222			95	244
天城町	82	128			70	116			71	118
伊仙町	53	98	1	2	57	102			49	102
和泊町	81	134			78	130			75	130
知名町	81	161			72	163			68	161
与論町	76	150			73	141			79	148
合 計	476	885	791	1,643	441	875	748	1548	437	903

7 労 政

(1) 労 働

労働組合基礎調査による令和2年6月30日現在の奄美群島における労働組合は、組合数49組合、組合員数3,746人で昨年同期に比して、組合数は1組合減少し、組合員数は69人増加している。

民間・官公別に組織状況を見てみると、民間28組合（57.1%）、1,331人（35.5%）に対し、官公21組合（42.9%）、2,415人（64.5%）となっており、推定組織率は10.5%（平成27年国勢調査の「従業上の地位（雇用者）」数値により推計）である。

労働争議は、令和元年度の発生件数は0件であった。

10-26 市町村別・法規別労働組合組織状況

資料：雇用労政課
期日：各年6月30日

区 分 市町村	総 数		労働組合法		行政執行法人 労働関係法		地方公営企業 労働関係法		国家公務員法		地方公務員法	
	組合数	組合員数	組合数	組合員数	組合数	組合員数	組合数	組合員数	組合数	組合員数	組合数	組合員数
昭和40年	69	6,900	24	1,833	9	880	1	21	6	232	29	3,934
50	64	7,002	28	1,718	12	976	3	52	4	153	17	4,103
60	69	6,633	40	2,078	5	466	3	45	5	194	16	3,850
平成7年	64	5,697	37	1,564	3	394	3	35	6	251	15	3,453
17	73	5,887	46	2,305	4	476	3	26	5	112	15	2,968
30	50	3,720	29	1,377	-	-	3	30	3	79	15	2,234
令和元年	50	3,677	29	1,377	-	-	3	28	3	56	15	2,216
令和2	49	3,746	28	1,331	-	-	3	32	3	51	15	2,332
奄美市	21	2,052	12	914	-	-	2	31	3	51	4	1,056
大島郡	28	1,694	16	417	-	-	1	1	-	-	11	1,276

10-27 産業別労働組合組織状況

資料：雇用労政課
期日：令和2年6月30日

産業別 区 分	建設業	製造業	電気・ガス・ 熱供給業	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業、小売業	金融業、保険業
組合数	3	4	2	1	1	-	2
組合員数	31	123	119	31	52	-	50

(下へつづく)

産業別 区 分	教育、学習 支援業	医療、福祉	複 合 サービス事業	サービス業 (他に分類 されないもの)	公 務
組合数	2	10	7	1	16
組合員数	135	369	610	9	2,217

10-28 労働争議発生状況

資料：雇用労政課

区 分 年度別	件 数	参加人員	争議行為を伴ったもの				争議行為を伴わないもの	
			罷 業		怠 業		件 数	人 員
			件 数	人 員	件 数	人 員		
昭和40年	22	1,907	16	1,719	4	150	2	38
50年度	39	5,316	21	2,572	12	2,536	6	208
60	8	356	6	330	1	13	1	13
平成7年度	-	-	-	-	-	-	-	-
17	-	-	-	-	-	-	-	-
27	-	-	-	-	-	-	-	-
30	-	-	-	-	-	-	-	-
令和元年度	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 昭和40年のみ暦年で、あとは会計年度

(2) 雇 用

ア 新規高卒者就職状況

令和2年3月の奄美群島内の新規高卒者就職者数は169人で、前年度と比べ14人(7.7%)減少した。

これを男女別に見ると、男109人(前年度比2人1.8%減)女60人(前年度比12人16.7%減)であった。

(7)産業別就職状況

令和2年3月は、就職者数の多い産業は製造業43人(25.4%)、その他の産業28人(16.6%)及び建設業23人(13.6%)であり、少ない産業は生活関連サービス業、娯楽業5人(3.0%)であった。

前年度と比べ就職者数が増加した産業は、運輸業、郵便業、情報通信業12人(133.3%)、宿泊業、飲食サービス業4人(33.3%)、卸売業、小売業3人(18.8%)であった。

前年度と比べ就職者数が減少した産業は、医療、福祉10人(41.7%)、生活関連サービス業、娯楽業8人(61.5%)、建設業7人(23.3%)、製造業5人(10.4%)、その他の産業3人(9.7%)であった。

(4)職業別就職状況

令和2年3月は、専門的、技術的、管理的職業、事務的職業23人(13.6%)、販売の職業13人(7.7%)、サービスの職業39人(23.1%)、技能工、採掘、製造、建設の職業92人(54.4%)及びその他の職業2人(1.2%)であった。

前年度と比べ就職者数が増加した職業は、技能工、採掘、製造、建造サービスの職業12人(15.0%)であった。

前年度と比べ就職者数が減少した職業は、サービスの職業16人(29.1%)、専門的、技術的、管理的職業、事務的職業5人(17.9%)、販売の職業4人(23.5%)及びその他の職業1人(33.3%)であった。

(7)地区別就職者数

令和2年3月は、東京地区(東京、神奈川、千葉、埼玉)48人(28.4%)大阪地区(京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山)38人(22.5%)、名古屋地区(愛知、三重)13人(7.7%)、県内のうち管内(奄美群島内)30人(17.8%)、県内のうち管外(奄美群島以外の鹿児島県内)20人(11.8%)、九州地区(鹿児島以外)16人(9.5%)、その他の県外(栃木、静岡、滋賀)4人(2.4%)であった。東京地区、名古屋地区及び大阪地区への就職者数が99人であり、58.6%を占める。

前年度と比べ就職者数が増加した地区は、県内のうち管内10人(50.0%)、大阪地区2人(5.6%)及び県内のうち管外1人(5.3%)であった。

前年度と比べ就職者数が減少した地区は、東京地区11人(18.6%)、九州地区8人(33.3%)、名古屋地区6人(31.6%)及びその他の県外2人(33.3%)であった。

イ 一般職業紹介状況

令和元年度の新規求職申込件数は、4,716件で、前年度と比べ44件(0.94%)増加した。

月間有効求職者数(月平均)は、1,753人で前年度と比べ72人(4.3%)増加した。

新規求人数は、7,786人で前年度と比べ39人(0.5%)減少した。

月間有効求人数(月平均)は、1,801人で前年度と比べ77人(4.5%)増加した。

有効求人倍率は、有効求人数と有効求職者数が同程度増加したため、1.03倍と同率であった。

就職件数(月平均)は、180件で、前年度と比べ13件(6.7%)減少した。

雇用保険受給者実人員(月平均)は、377人で、前年度と比べ13人(3.6%)増加した。

10-29 新規高卒者就職状況の推移

資料：名瀬公共職業安定所

(1) 産業別就職状況

		平成27年3月		平成28年3月		平成29年3月		平成30年3月		平成31年3月		令和2年3月	
男	建設業	30人	26.5%	27人	21.6%	26人	25.5%	24人	22.2%	29人	26.1%	21人	19.3%
	製造業	25	22.1	29	23.2	28	27.5	31	28.7	39	35.1	39	35.8
	運輸業、郵便業、情報通信業	8	7.1	11	8.8	5	4.9	5	4.6	4	3.6	15	13.8
	卸売業、小売業	12	10.6	14	11.2	7	6.9	10	9.3	6	5.4	10	9.2
	宿泊業、飲食サービス業	6	5.3	11	8.8	7	6.9	4	3.7	3	2.7	5	4.6
	生活関連サービス業、娯楽業	2	1.8	0	0	2	2.0	2	1.9	4	3.6	0	0
	医療、福祉	5	4.4	6	4.8	6	5.9	5	4.6	7	6.3	6	5.5
	その他の産業	25	22.1	27	21.6	21	20.6	27	25.0	19	17.1	13	11.9
	計	113	100	125	100	102	100	108	100	111	100	109	100
女	建設業	3	4.2	1	1.5	2	2.9	3	5.0	1	1.4	2	3.3
	製造業	4	5.6	9	13.8	3	4.4	8	13.3	9	12.5	4	6.7
	運輸業、郵便業、情報通信業	4	5.6	3	4.6	3	4.4	2	3.3	5	6.9	6	10.0
	卸売業、小売業	9	12.5	12	18.5	13	19.1	10	16.7	10	13.9	9	15.0
	宿泊業、飲食サービス業	24	33.3	19	29.2	17	25.0	12	20.0	9	12.5	11	18.3
	生活関連サービス業、娯楽業	6	8.3	3	4.6	10	14.7	4	6.7	9	12.5	5	8.3
	医療、福祉	13	18.1	10	15.4	10	14.7	10	16.7	17	23.6	8	13.3
	その他の産業	9	12.5	8	12.3	10	29.4	11	18.3	12	16.7	15	25.0
	計	72	100	65	100	68	100	60	100	72	100	60	100
計	建設業	33	17.8	28	14.7	28	16.5	27	16.1	30	16.4	23	13.6
	製造業	29	15.7	38	20.0	31	18.2	39	23.2	48	26.2	43	25.4
	運輸業、郵便業、情報通信業	12	6.5	14	7.4	8	4.7	7	4.2	9	4.9	21	12.4
	卸売業、小売業	21	11.4	26	13.7	20	11.8	20	11.9	16	8.7	19	11.2
	宿泊業、飲食サービス業	30	16.2	30	15.8	24	14.1	16	9.5	12	6.6	16	9.5
	生活関連サービス業、娯楽業	8	4.3	3	1.6	12	7.1	6	3.6	13	7.1	5	3.0
	医療、福祉	18	9.7	16	8.4	16	9.4	15	8.9	24	13.1	14	8.3
	その他の産業	34	18.4	35	18.4	31	18.2	38	22.6	31	16.9	28	16.6
	計	185	100	190	100	170	100	168	100	183	100	169	100

(2) 職業別就職状況

男	専門的、技術的、管理的職業、事務的職業	15	13.3	21	16.8	19	18.6	16	14.8	17	15.3	8	7.3
	販売の職業	11	9.7	10	8.0	6	5.9	6	5.6	2	1.8	5	4.6
	サービスの職業	17	15.0	15	12.0	11	10.8	9	8.3	18	16.2	11	10.1
	技能工、採掘、製造、建設の職業	67	59.3	69	55.2	59	57.8	72	66.7	72	64.9	83	76.1
	その他の職業	3	2.7	10	8.0	7	6.9	5	4.6	2	1.8	2	1.8
	計	113	100	125	100	102	100	108	100	111	100	109	100
女	専門的、技術的、管理的職業、事務的職業	16	22.2	8	12.3	12	17.6	16	26.7	11	15.3	15	25.0
	販売の職業	6	8.3	8	12.3	10	14.7	9	15.0	15	20.8	8	13.3
	サービスの職業	45	62.5	33	50.8	39	57.4	25	41.7	37	51.4	28	46.7
	技能工、採掘、製造、建設の職業	5	6.9	11	16.9	6	8.8	9	15.0	8	11.1	9	15.0
	その他の職業	0	0.0	5	7.7	1	1.5	1	1.7	1	1.4	0	0.0
	計	72	100	65	100	68	100	60	100	72	100	60	100
計	専門的、技術的、管理的職業、事務的職業	31	16.8	29	15.3	31	18.2	32	19.0	28	15.3	23	13.6
	販売の職業	17	9.2	18	9.5	16	9.4	15	8.9	17	9.3	13	7.7
	サービスの職業	62	33.5	48	25.3	50	29.4	34	20.2	55	30.1	39	23.1
	技能工、採掘、製造、建設の職業	72	38.9	80	42.1	65	38.2	81	48.2	80	43.7	92	54.4
	その他の職業	3	1.6	15	7.9	8	4.7	6	3.6	3	1.6	2	1.2
	計	185	100	190	100	170	100	168	100	183	100	169	100

(注) 構成比の計は四捨五入の関係で一致しないこともある。

(3) 地区別就職状況

		平成27年3月		平成28年3月		平成29年3月		平成30年3月		平成31年3月		令和2年3月	
男	県内のうち管外	9人	8.0%	7人	5.6%	5人	4.9%	8人	7.4%	14人	12.6%	12人	11.0%
	県内のうち管内	14	12.4	18	14.4	15	14.7	13	12.0	10	9.0	15	13.8
	東京地区	44	38.9	51	40.8	47	46.1	43	39.8	36	32.4	35	32.1
	名古屋地区	8	7.1	16	12.8	3	2.9	9	8.3	10	9.0	10	9.2
	大阪地区	23	20.4	20	16.0	21	20.6	20	18.5	20	18.0	21	19.3
	九州地区	13	11.5	13	10.4	8	7.8	11	10.2	17	15.3	12	11.0
	その他の県外	2	1.8	0	0	3	2.9	4	3.7	4	3.6	4	3.7
	計	113	100	125	100	102	100	108	100	111	100	109	100
女	県内のうち管外	13	18.1	9	13.8	8	11.8	11	18.3	5	6.9	8	13.3
	県内のうち管内	18	25.0	10	15.4	14	20.6	15	25.0	10	13.9	15	25.0
	東京地区	12	16.7	16	24.6	16	23.5	13	21.7	23	31.9	13	21.7
	名古屋地区	11	15.3	8	12.3	14	20.6	11	18.3	9	12.5	3	5.0
	大阪地区	12	16.7	15	23.1	10	14.7	8	13.3	16	22.2	17	28.3
	九州地区	6	8.3	4	6.2	6	8.8	0	0	7	9.7	4	6.7
	その他の県外	0	0	3	4.6	0	0	2	3.3	2	2.8	0	0
	計	72	100	65	100	68	100	60	100	72	100	60	100
計	県内のうち管外	22	11.9	16	8.4	13	7.6	19	11.3	19	10.4	20	11.8
	県内のうち管内	32	17.3	28	14.7	29	17.1	28	16.7	20	10.9	30	17.8
	東京地区	56	30.3	67	35.3	63	37.1	56	33.3	59	32.2	48	28.4
	名古屋地区	19	10.3	24	12.6	17	10.0	20	11.9	19	10.4	13	7.7
	大阪地区	35	18.9	35	18.4	31	18.2	28	16.7	36	19.7	38	22.5
	九州地区	19	10.3	17	8.9	14	8.2	11	6.5	24	13.1	16	9.5
	その他の県外	2	1.1	3	1.6	3	1.8	6	3.6	6	3.3	4	2.4
	計	185	100	190	100	170	100	168	100	183	100	169	100

(注) 構成比の計は四捨五入の関係で一致しないこともある。

10-30 年次別一般職業紹介状況

資料：名瀬公共職業安定所

区 分	新規求職 申込件数	月間有効求職者数 (月平均) A	新規求人数	月間有効求人数 (月平均) B	有効求人倍率 B/A	就職件数 (月平均)	雇用保険受給者 実人員 (月平均)
26年度	5,804	1,949	5,766	1,169	0.60	195	515
27年度	5,419	1,839	5,995	1,252	0.68	183	488
28年度	5,177	1,784	7,021	1,459	0.82	191	458
29年度	5,210	1,778	8,008	1,730	0.97	202	426
30年度	4,672	1,681	7,825	1,724	1.03	193	364
令和元年度	4,716	1,753	7,786	1,801	1.03	180	377
31年4月	536	1,968	681	2,003	1.02	367	386
元年5月	431	1,834	579	1,772	0.97	183	406
元年6月	327	1,763	609	1,742	0.99	179	430
元年7月	353	1,713	602	1,654	0.97	175	455
元年8月	307	1,636	563	1,606	0.98	116	443
元年9月	370	1,679	612	1,657	0.99	175	394
元年10月	306	1,605	588	1,616	1.01	143	388
元年11月	271	1,527	618	1,671	1.09	124	335
元年12月	367	1,563	596	1,682	1.08	140	330
2年1月	389	1,622	931	1,997	1.23	108	343
2年2月	650	1,988	823	2,190	1.10	104	298
2年3月	409	2,137	584	2,027	0.95	340	317

(注) 新規学卒を除きパートタイムを含む。